

地域情報誌
2014年6月
(No15)

DE すかね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会

今年也大盛況！農ganic Festa2014



(今年もたくさんの人に来ていただきました)



(雲海塾のみなさんも出店)



(恒例の川下り体験、絶景です)



(読み聞かせ体験、「青空図書館」も開催)

5月5日、今年で3回目となる農ganic Festa2014が開催されました。

ふれあいプラザ須金では、Bambooのお弁当や、梨やブルーベリーのジャムを使ったクレープなど、須金の美味しいものがた〜くさん！また、新緑がまぶしい錦電橋のもとでは、ツリークライミングや絵本の読み聞かせを楽しむ子供たち。錦川では、ボートを浮かべての川下り体験も行われました。木村市長も来てくださり、木漏れ日の下でマッサージやヨガを体験されました。日頃の疲れもリフレッシュされたでしょうか？

街から来た方も、そして、須金に住む私たちも、「須金っていいところがいっぱい」と思えたお祭りだったと思います。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(文／特派員 山縣幸子)

「DEすがね」はパソコンでもご覧いただけます。以下のアドレスへアクセスしてください。

→ 周南市コミュニティ推進連絡協議会ホームページ <http://gokan-furusato.org/community/community.html>

Q1. ご出身は峰畑なのですね。

A1. 峰畑の笹ヶ原の出身です。小学生の頃は、夏は川魚釣り、冬はソリなどをしてよく遊びました。当時、1年生から4年生までは峰畑分校、5年生からは須磨小学校へ登校するようになっていました。

笹ヶ原も10軒ありましたが、現在は、一人暮らしの母を含めて3軒。やはり淋しいですね。

Q2. これまでのご経歴を教えてください。

A2. 須金中学校、広瀬高校を卒業し、昭和55年に徳山市役所に入庁しました。住民課からはじまり、須金公民館や青少年室、水産物市場、人事課、保険年金課などで勤めてきました。

Q3. 須金公民館主事としてどんなことに取り組まれましたか？

A3. 老人クラブ連合会の行事や料理教室などの公民館講座、大夏祭り、地区大運動会、大津島の交流会など、いろんな経験をさせていただきました。地域を盛り上げる有志のグループ、「やまびこ会」の事務局もさせていただき、秘密尾の原生林を見に行ったり、長渡路の洞窟探検に行ったりと、楽しかった思い出がたくさんあります。

Q4. ご趣味は何ですか？

A4. 最近はあまりやっていないですが、ヤマメ釣りです。以前は、大足谷川や長谷川でよく釣っていました。もう一つは、バイクです。四国や九州方面にもツーリングに行っていましたが、最近は、愛車のドラッグスターを洗車し、ピカピカな車体を眺める時間が好きです（笑）。須金勤務になったので、また釣りもバイクも楽しめる環境になりました。

Q5. 須金支所長としての抱負をお願いします。

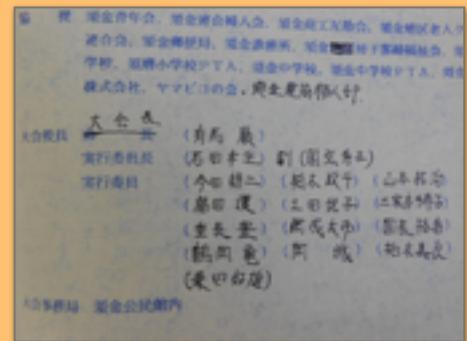
A5. 地域の皆さんが安心して暮らせることが一番大切だと考えています。課題を把握し、少しでも役立つように頑張っていきたいと思いますので、是非、お気軽に支所にお立ち寄りいただき、皆さんの声をお聞かせください。
(インタビュー/須金公民館 周山健太郎)

人物紹介

須金支所長 福田 敏明 さん



よろしくお祈りします！



公民館時代の夏祭り資料



須金フルーツランド日誌



須磨小学校の児童7人と先生方が歩いて農園に来られました。そして、みんなで梨の袋かけを体験しました。

この農業体験は、私が子どもの頃にもありました。それがずっと続いて、自分の子どもも同じ体験をしているなんて、ちょっとうれしくなりました。ただ、驚いたのは須磨っ子たちの集中力がすごい。人手足りないときにはまた来てね～。
(文/福田陽一)



(福田フルーツパークにて集合写真)

講演会のお知らせ

地震、台風、豪雨、豪雪。自然災害はいつ発生するか分かりません。だからこそ、日常生活の中で災害への備えをしておくことが大切です。梅雨の季節を前に、身近な防災対策について、市の防災アドバイザーから学ぶ講演会を行います。どなたでもご参加できますので、是非ご来場ください。

- 主催：須金地区老人クラブ連合会
- 日時：平成26年6月13日（金）10：30～11：30
- 場所：須金農村環境改善センター
- 講演：家庭や地域でできる身近な防災対策について
～ 周南市防災アドバイザー 防災士 前田貴典様 ～



須金rebornプロジェクトが始動！！

今年1月から4回シリーズで開催した須金ミーティングでの意見を集約した「須金の夢プラン」が完成しました。これから、プランの実行を「須金rebornプロジェクト」として、これまで以上に住みよい地域づくりを進めていきます。

rebornとは、人と人との結びつきの“リボン”と、地域の再生の“リボーン”の意味を表しています。生きがいを持って住みつづけられる須金をつくるため、地域の皆さんの更なるご協力をよろしくお願いいたします。

※今号と合わせて「須金の夢プラン」を各戸配布いたします。



(第1回須金ミーティング)



(全ミーティングを終えて)



(プロジェクトのロゴマーク)

亀山八幡宮 春祭り



5月5日は亀山八幡宮の春祭りでした。朝方までの雨もあがり、下界で開催中の農ガニックフェスタの喧騒が嘘のように静まり返った本殿にて、祝詞が奏上されました。

この春祭りは、春の陽気とともに訪れる天地自然の尊い恵みに感謝し、今年の農作物の豊穡や産業の発達、人々の幸福な生活を神様にお祈りする大切なお祭りです。

昼からは餅まきが行われました。今年も競争率は低く、一人で沢山の餅を拾った人も居たようです。

農園をやっている私としましても、お天気に恵まれ実りの多い、いい一年になりますようにと思いながらお祈りしてきました。

(文/特派員 山縣 聡)

須金地区主な行事予定

(6～7月)

6月

- 6月 1日 (日) 小学校プール掃除
自然の学校
「自然観察会」
- 6月 8日 (日) それ一ねの日
- 6月 9日 (月) コミュニティ理事会
- 6月 13日 (金) 高齢者福祉のつどい
- 6月 14日 (土) やまびこ号
- 6月 20日 (金)、21日 (土)
ほたるのすがね
- 6月 22日 (日) 北部地区球技大会
(須金)

7月

- 7月 3日 (木) 小学校地域参観日
- 7月 6日 (日) 錦川流域河川一斉清掃
- 7月 7日 (月) コミュニティ理事会
- 7月 18日 (金) 小学校終業式
- 7月 20日 (日) 消防団操法大会



特別連載 須金歴史探訪

(第13回)

廣實申し その三

文 高橋 勝己

天文22年（1553年）ついに須磨村は陶軍に攻落されました（H25.4月号参照）。鶴岡家は大内の後ろ盾を無くし、須万での経済基盤を固めようと、まずは兼田の金子一族をおさえ、金子氏の家臣、倉光将監を使い、田原の広實一族を攻め、一部の廣實一族は山代街道を東に向かい、岩国市美和町秋掛に逃れたといわれています。倉光将監が攻め入った時に名づけられたと思われる「研ぎ石」と「攻め鞍」という地名が残っています。

その後、江戸時代になり平和が訪れてから、当須万地区と、向畑地区の廣實氏が6年に一度交流を始めたともいわれています（氏申し450年説）。-「氏申しの里の案内」看板より引用-

今年は氏申しの年に当たります。今回は高野で行われましたので、今回は向畑地区での開催となる予定です。



写真： 前回高野で行われたときの神楽の様子

錦川流域河川一斉清掃

もみじパーク草刈にご参加ください！！

主催 生きがいのある須金をつくる会
須金地区自治会連合会

日時 平成26年7月6日（日）8:30～

集合 須金和紙センター前

持参器具 カマ、草刈り機、混合油等
(ゴミ袋は用意します)

※自治会内の回覧は
行いませんのでご注意ください。



※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！

編集後記

またホタルの季節がやってきました。今年もいっぱい飛びますかね。季節によっていろんな楽しみのある須金っていいですね。
(福田 陽一)